

町民の皆様

厚真町教育委員会

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果の公表について

本年度実施された全国学力・学習状況調査における厚真町の子どもたちの結果の概要をお知らせします。
教育委員会では、調査結果をもとに、今後の教育施策の充実と各学校の教育活動の改善・充実に向けて取組を進めてまいりますので、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 調査の目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する施策と継続的な検証改善サイクルを確立して学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

2 調査期日 平成30年4月17日（火）

3 調査の内容

(1) 対象学年と参加状況 小学校第6学年（2校 47人） 中学校第3学年（2校 34人）

(2) 児童生徒に関する調査

① 教科に関する調査 国語、算数・数学、理科

国語、算数・数学はそれぞれ、「主として『知識』に関する問題（A）」と「主として『活用』に関する問題（B）」として調査

② 質問紙調査

生活習慣や学習方法、学習環境、生活の諸問題、教科に対する意欲等に関する調査

(3) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における教育条件の整備条件等に関する調査

4 調査結果の概要

教育委員会では、平成24年度から全国の平均正答率をこえることを目標に学校と連携し、保護者のご理解・ご協力を得て学力向上に取り組んできました。その結果、本年度におきましても小学校、中学校ともに、全国の平均正答率を上回る結果を得ることができました。

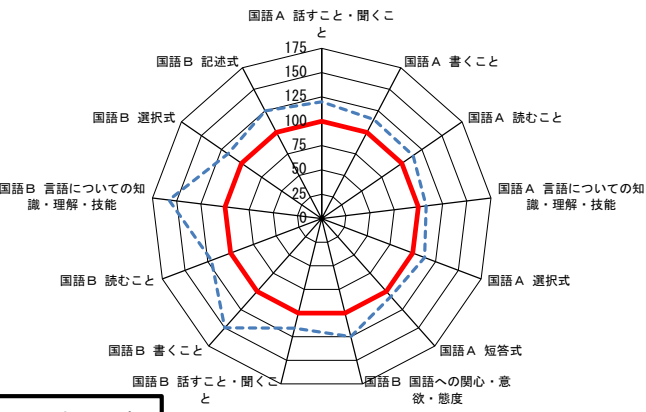
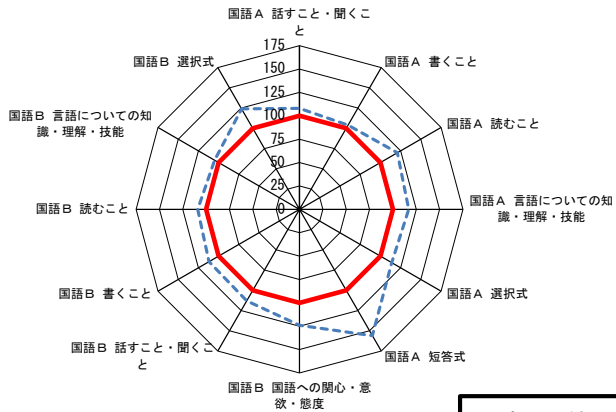
国語と算数・数学の領域ごとの結果は下記のとおりでした。

<小学校>

<中学校>

小学校国語の概要

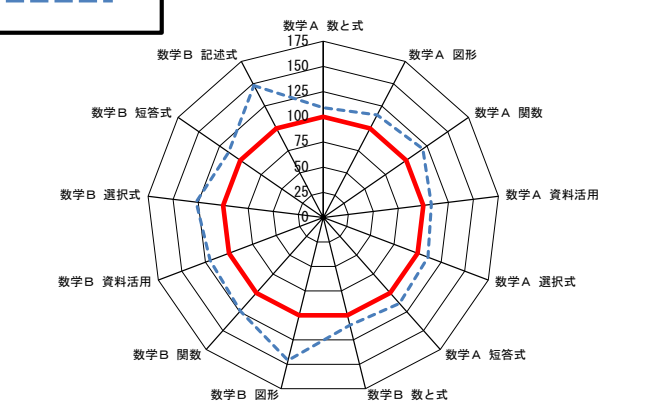
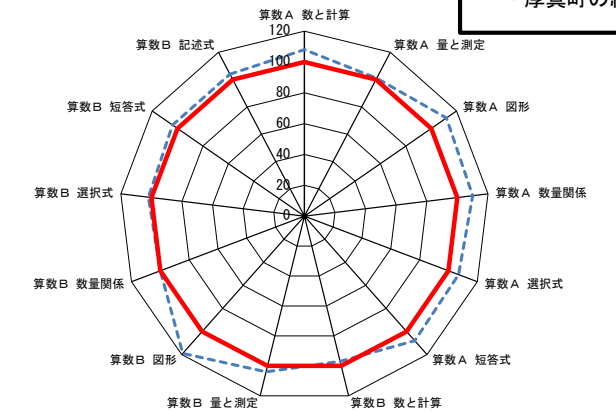
中学校国語の概要



※全国の結果を100としたときの厚真町の結果
・全国の結果（100）
・厚真町の結果

小学校算数の概要

中学校数学の概要



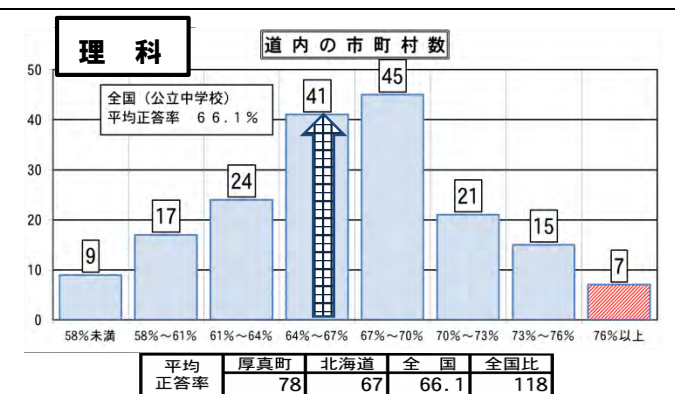
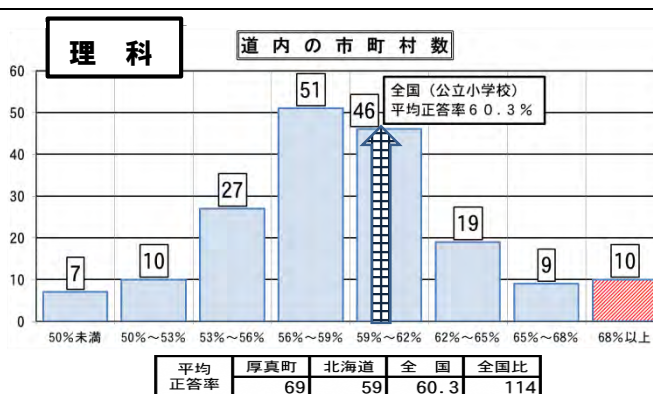
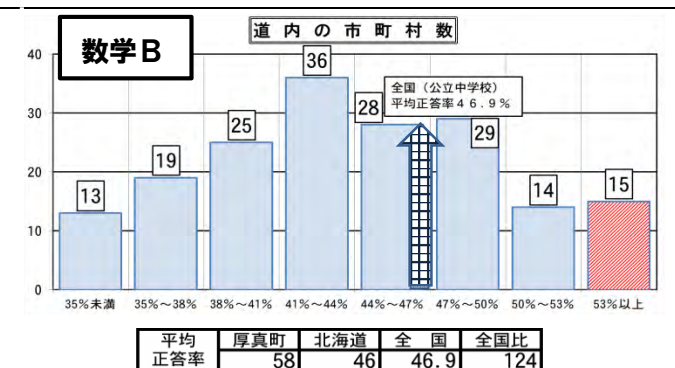
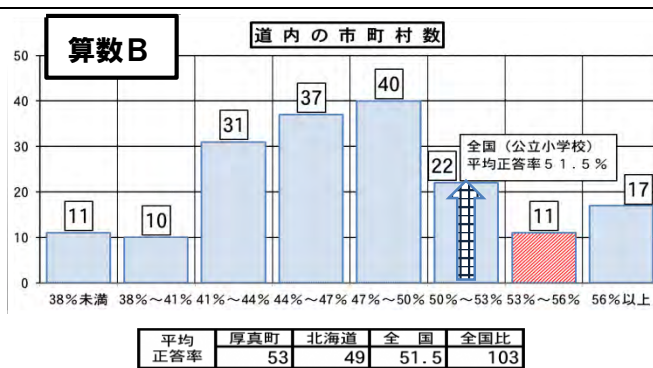
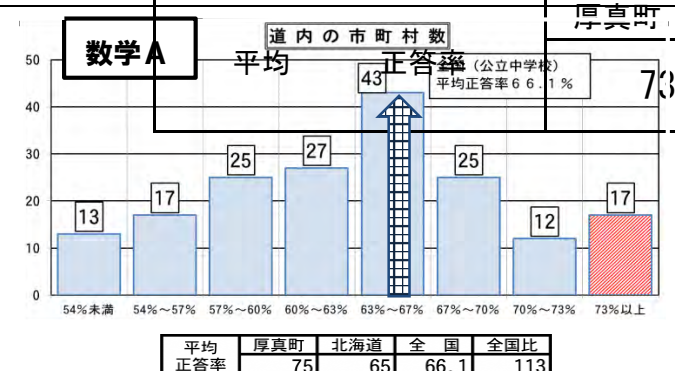
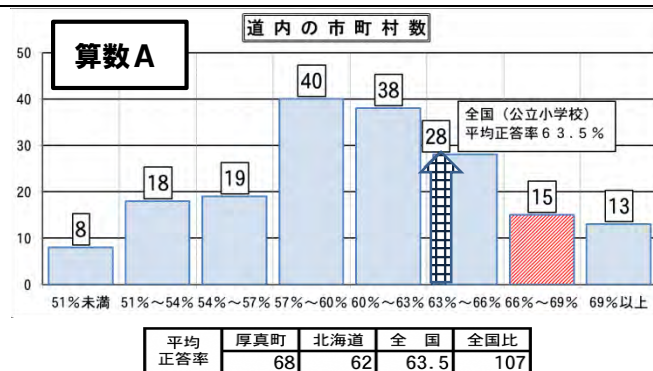
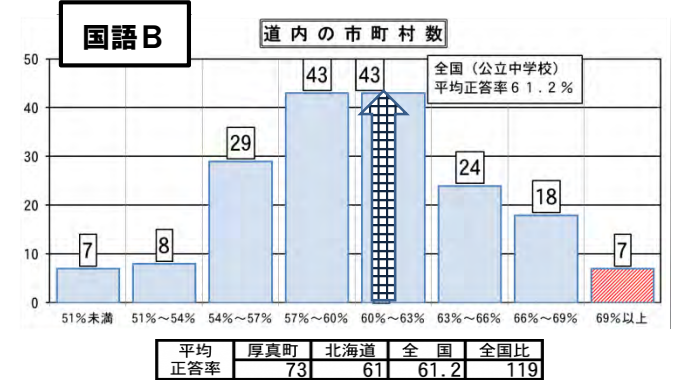
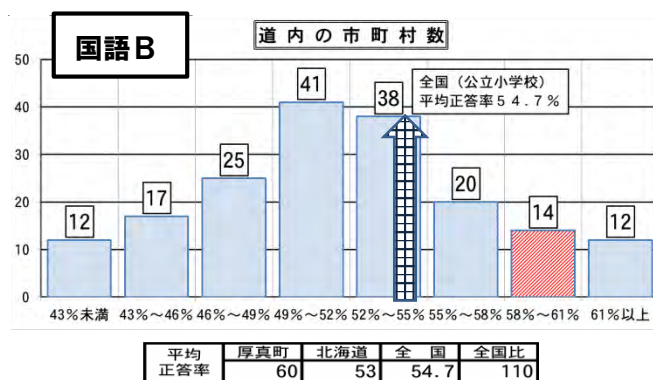
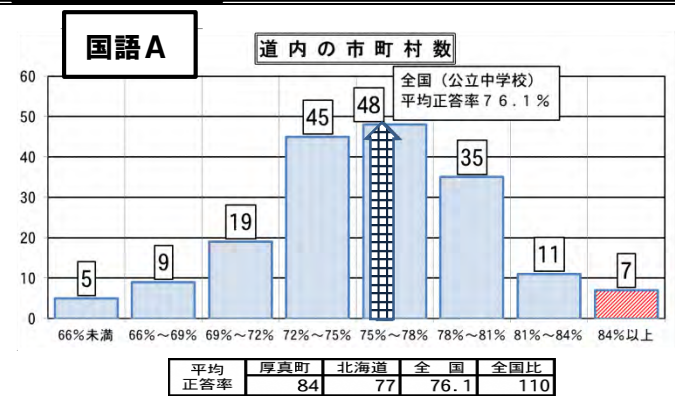
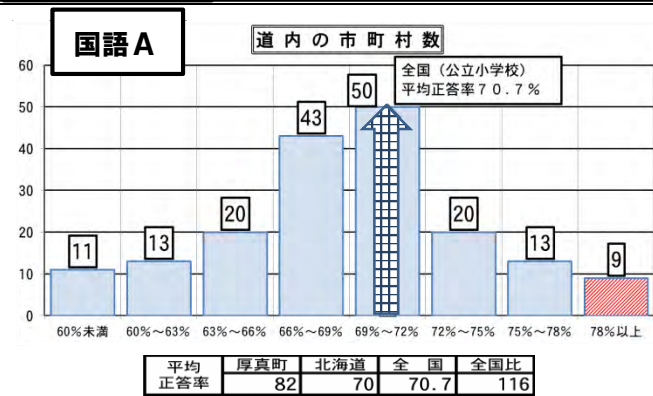
5 道内市町村との比較分布から見える現状について

 は、厚真町が属するグループ
 表中の の全国比は、全国平均正答率を100とした時の厚真町の割合

※1. %は平均正答率
 ※2. 厚真町の全国比は、小数点以下は四捨五入しています

小 学 校

中 学 校



6 学力状況の概略

(1) 国語

【小学校】 ＜良かった点＞ ・相手や目的に応じ、筋道を立てて話すこと ・慣用句の意味を理解して、自分の表現に用いること ・漢字を正しく読むこと ＜課題＞ ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること ・主語と述語との関係に注意して、文を正しく書くこと	【中学校】 ＜良かった点＞ ・話の論理的な構成や展開などに注意して聞いたり、必要に応じて質問したりすること ・書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成すること ・文脈に即して漢字を正しく読むこと ＜課題＞ ・目的に応じて文の順序や構成を考えて適切な文を書くこと ・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと
【さらに子どもたちの力を伸ばすために】 日常生活の中で、話す・書くなど、自分の言葉の使い方に興味・関心を持たせることが大切です。 ・「日記をつける」「祖父母へ手紙を出す」など、実生活で文を書く経験を多くする。 ・新聞を読む。	

(2) 算数・数学

【小学校】 ＜良かった点＞ ・角の大きさを正しく求めること ・二つの数量関係を数直線に表すこと ＜課題＞ ・小数の除法の意味について ・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味 ・算数的事象を示された数量を関連づけ、根拠を明確にして記述すること	【中学校】 ＜良かった点＞ ・比例定数の意味、単項式どうしの除法の計算、空間図形の構成などの基礎的、基本的な知識や技能 ＜課題＞ ・一次関数の意味、証明の必要性和意味、数量の大小関係を不等式に表すこと、確立を求めること など ・事象が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明すること
【さらに子どもたちの力を伸ばすために】 日常生活の場面で算数・数学が役立っていることを実感させることが大切です。 ・時計を読む。 ・温度計などの目盛りを読む。 ・買い物で割引後の価格を計算する。	

(3) 理科

【小学校】 ＜良かった点＞ ・人の体のつくり（骨と骨のつなぎ目）やたい積作用についての理解 ・得られたデータと現象を関係付けて、観察・実験の結果を整理、分析して考察すること ＜課題＞ ・流れる水の働きと土地の関係の変化 ・実験結果を基に自分の考えを改善すること	【中学校】 ＜良かった点＞ ・植物の蒸散や物質を原子の記号で表すことなど、基礎的・基本的な知識・技能が身につけている。 ・習得した知識・技能を活用して、観察・実験の結果を分析して解釈すること ＜課題＞ ・自然の事物・現象に含まれる要因を整理し、条件を制御して実験を計画すること
【さらに子どもたちの力を伸ばすために】 身の回りの自然現象や自然科学について、興味関心を持ち、「なぜ」という疑問を持つことが大切です。 ・日常の生活の中で、四季の移り変わりや自然の変化について観察する。	

7 質問紙の結果から見た子どもの特徴（全国と比べ）

＜良かった点＞

- ・「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と思う子どもが多い。
- ・宿題や復習など家庭学習を積極的に取り組んでいる子どもが多い。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している子どもが多い。

小学生

- ・自分にはよいところがあると思う子どもが多い。
- ・地域でボランティア活動に参加している子どもが多い。
- ・社会や自然のことがらに「不思議だな」「おもしろいな」と思う子どもが多い。
- ・放課後子ども教室や放課後児童クラブに参加している子どもが多い。

中学生

- ・家で計画を立てて勉強する子どもが多い。
- ・「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることが多い」と答えた子どもが多い。
- ・理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察する子どもが多い。
- ・「数学や理科の授業の内容がよく分かる」と答えた子どもの割合が高い。
- ・新聞を読んでいる子どもが多い。

＜改善したい点＞

小学生

- ・家庭で、10分以上読書をすること。

中学生

- ・週末でもインターネットや電子メディアの利用は、2時間以内とすること。

8 質問紙の結果から見た正答率の高い子どもの姿

- ・自分にはよいところがあると思う子ども
- ・学習課題に対して自ら考え、自分から取り組む子ども
- ・話し合う活動で、自分の考えを深めたり、広げたりする子ども
- ・学校のきまり（規則）を守っている子ども
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う子ども
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う子ども
- ・地域でボランティア活動に参加する子ども
- ・ニュースを見たり、新聞を読んだりする子ども
- ・社会で起こっている問題や出来事に関心がある子ども
- ・自然の中で遊んだり自然観察をしたりする子ども

9 学力向上に向けた教育委員会の取組

教育委員会は、子どもたちの学力の向上に寄与するため、今後も以下のような取組を一層推進してまいります。

1 厚真町学力向上推進委員会の取組の推進

各小中学校の代表者で組織する学力向上推進委員会を設置し、本町の児童生徒の学力の実態を把握し、学力向上に向けた学校での学力向上プランの作成と実施、学校間の連携、家庭との連携等に関することを行います。

2 小学校から中学校までの一貫した教育の推進

小学校から中学校までの9年間の学びを一貫的に推進することで、児童生徒に確かな学ぶ力を育てるための取組を進めます。

3 児童生徒への学習支援の取組

児童生徒の学習指導を充実するための複数教員による指導、長期休業中の補充指導への支援などを行ってまいります。

4 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の活動を通しての豊かな体験活動等への支援の取組

児童の放課後の活動を通して豊かな学びを支える様々な体験活動等を支援します。